

パターン 11 - ① (おすすめ進行 ; Fmaj7→G/F→Em7→Am)

Verse (テーマ) &Ending (終止)

Bridge (展開部)

メモ

- ①パターンとしては、かなりおすすめ (テーマを延々と繰り返すことも可能 ; 筆者的黄金進行 !)
- ②ファ抜きの即興が合わせやすい
- ③Fmaj7→G/FはFmaj7→G、と進んでも良いし、Em7→AmはAm→AmでもOK
- ④坂本龍一、ミスチル、オフコース、小室哲哉、など多くのヒットソングで使用されている
- ⑤テーマ部は、 | Fmaj7 | Em7 | Fmaj7 | Am7 | (各1小節ずつ) にしてもおもしろいし、
展開部は、 | Dm7 | Em7 | Dm7 | Em7 | Dm7 | Em7 | Dm7 | G7 | でも可
- ⑥テーマ部に下記のメロディを設定してみてもよい⇒音源CD (Disc②-15) に収録

(展開部は | Dm7 | Em7 | Dm7 | Em7 | Dm7 | Em7 | Dm7 | G7 | になっている)

⇒最初の1・2小節でファ抜きの7音が各1回ずつ登場し、3・4小節でシ&ドが休みとなる
集団セッションでトーンチャイムで各自1本ずつ持ち、各自の役割が明確化し、休み(待つ)
という場面も同時に提供できるため、音楽療法として成立しやすいため